

## □ 要請番号 (JL31818A06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エクアドル	G182 小学校教育		個別	交替 2代目	2年	・2018/3 ・2019/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

## 2) 配属機関名 (日本語)

ヤクアンビ・サモラ地区教育事務所

## 3) 任地 (サモラ・チンチペ県サモラ市) JICA事務所の所在地 (キト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで約3.5時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先であるヤクアンビ・サモラ地区教育事務所は、当国最南部のアマゾン地域、サモラ・チンチペ県内に位置しており、県都サモラ市周辺を含む11の市町村を管轄し、適切で質の高い教育を提供することを目指し、教育省が策定する教育政策・教育計画の実施と管理を行っている。同教育事務所には約50名の職員が在籍し、財務、人事、法務といった部署から構成されており、ボランティアは3名のスタッフと共に就学支援課に配属される予定である。年間予算は約1,500万米ドル(2017年)。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

配属先においては国語科と算数科における知識・技能の定着化が図れていないことから、児童・生徒にとって学習意欲が高まり難い教科である。特に算数科においては実生活や学習等で活用することが十分にできておらず、低学年における四則演算などの基礎計算力は著しく不足している。その背景には児童生徒の反応や理解の状況を考えず、板書を中心とした一方的な解説に偏った授業方法が主体であり、知識や操作に偏重した授業が行われており、教師の指導方法が課題となっている。帰国した青年海外協力隊(JV)(平成27年度1次隊)は、配属先が指定する学校(3-5校)を巡回し巡回校の教員と共に、児童・生徒に対する算数指導の強化及び、教員に対する模擬授業や授業検討会、教材の紹介といった活動に取り組んだが、1代ではそれらの定着化が困難なため継続要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 市内の管轄校を巡回し、各学校の教員に対して以下の活動を行う。
- 1.各学校を巡回し、授業観察を実施し、教員の指導状況を把握する。
  - 2.各学校の教員と協働し児童生徒に対する算数の授業を実施する。
  - 3.身近な材料を利用し、授業の効果を高める教具・教材の作成を支援する。
  - 4.指導力向上のための研修会の企画・運営支援を行う。
  - 5.公開授業、授業研究の紹介と導入のための支援を行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務用品、機材一式(教室、ホワイトボード、算数教具など)

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:指導主事 3名 男性 50代

活動対象者:同地区の小学校校長及び教員、児童 小学2-7年生(日本の1-6年生)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

**【資格条件等】**

[免許]：(小学校教諭)  
(教諭免許(校種・教科不問))

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(教員経験)3年以上 備考：教員への助言・指導を行うため

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(20~30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

**【特記事項】**

インターネット、水道、電気については、基本的サービスはあるものの、停電等の問題もあり常に良好な状態であるとは言い難い。